

まちづくりの主役は市民一人ひとりです。



市議会議員 田中のりこ

暮らしの中で感じたこと、思ったことは
ブログやFacebookに、日々更新中。

きさらづ 市民ネットワーク通信

No. 65
(2014年秋号)

発行/きさらづ市民ネットワーク 発行責任者/金井珠美
木更津市八幡台 3-4-8 TEL・FAX: 0438-36-0677



市民ネットワーク千葉県の
キャラクター「ネットりん」よろしく!
11/8~13日まで木更津市内を
市民ネットワークの政策カーが
走ります。あなたの地域も走るかも。



田中のりこ
ホームページ

田中のりこと市民ネット

検索

田中のりこのブログ

検索

人と人がつながるまちに 気軽に立ち寄れる場

市民ネットワークの事務所は地域ごとに特色があります。きさらづ市民ネットワークの事務所は、7月に真舟から八幡台に移り、人と人がつながるように気軽に立ち寄れる場になればと考えました。

事務所の一部を開放します。数日間をギャラリーとして利用・趣味や市民活動の集いの場などにご利用ください。なお、利用条件などは事務所へお問い合わせください。(木更津市八幡台 3-4-8 Tel 36-0677)

OPEN 何があるかお楽しみ
と見に来ませ!!

趣味のサークル
ハート村

和
〈手づくり小物・フリーマーケットなど〉

11/16(日)~25(火)無休
10:00~15:00

場所:ネットの事務所 2F

〔未場者にハートの種あげます。〕
なくなったら ごめしネ!!
主催者 竹内・宮下・黒川・大曾根

ひきこもりの方たちの社会参加を支援するサークル

ゆるボラの会

11/5 9:30~12:00 打ち合わせに利用
連絡先: 090-6132-4933(佐々木)

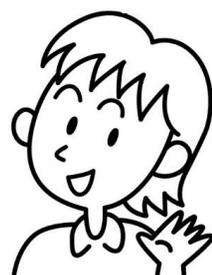
会員募集中

認知症サポーター養成講座

11月14日(金) 10:00~11:30

場所:ネットの事務所 1F
主催:きさらづ市民ネットワーク
申込先 070-2172-8480

認知症の理解者がふえると、
さりげない地域のみきもりが
でき、暮らし
やすいまちに
なります。



まちかどカフェ

おしゃべりしながら、お茶しませんか。

11月21日(金) 13:30~15:30

場所:ネットの事務所 1F

飲み物とスイーツをセット(200円)

お話したい方お好きな時間にどうぞ。
個別に相談したい方は予約で時間指定。

主催:田中のりこ
問い合わせ先 070-2172-8480



木更津にオスプレイ 今こそ沖縄を知る

スクリーンに叩き付ける 伝えきれない沖縄

映画「標的の村」木更津上映会

11月29日(土) 14:00~15:30

木更津中央公民館 13:30開場
協力券 500円

ネットの事務所でも前売りしています。
主催:映画「標的の村」を観る住民の会



9月議会で質問…その後、先進地視察

各地区の高齢化率トップ10	地区	高齢化率
	1. 大久保1丁目	53.9%
	2. 日の出町	51.3%
	3. 真舟3丁目	48.2%
	4. 八幡台2丁目	47.4%
	5. 大久保4丁目	45.2%
	6. 中尾	44.5%
	7. 八幡台1丁目	43.9%
	8. 新田3丁目	43.8%
	9. 山本七曲	43.8%
10. 大久保2丁目	43.3%	

2014. 7. 1 現在住民基本台帳より

介護保険法が改正になり、国は在宅医療・在宅介護をすすめていきます。住み慣れた家で暮らし続けるために、どうしたらいいのでしょうか。木更津市の65歳以上の高齢化率は24%です。でも、地区ごとに調べてみると、40%を超える地区が複数ありました。

9月議会では、住み慣れた家で暮らし続けることができるまちづくりをめざして質問(11月1日発行「市議会だより」に掲載)しました。

10/15~16に在宅医療・在宅介護の先進地、滋賀県に視察に行きました。

地域が病院、家がベッド、電話がナースコール

滋賀県米原市の「地域包括ケアセンターいぶき」は、診療所とリハビリに特化したデイサービスと介護老人保健施設が併設されています。

この介護老人保健施設は全国に7%しかない在宅復帰強化型の施設です。目標3か月で食事がとれる・歩けるようにリハビリして家に帰す場として30床。また、介護ばかりの生活だと家族は疲れ、距離を置く時間は大切なので、定期的に利用するショートステイ30床。合わせて60床の施設です。半径20kmを70~80人の在宅医療。携帯電話で4人の医師の当番制24時間対応。内科、外科を問わず診察する総合医は、午前診療所で診察、午後は訪問診療。



これからの在宅医療・在宅介護にはこの総合医が必要ですが、全国にH25年8月現在385人(日本プライマリ・ケア連合学会認定医)しかいません。

一人暮らしや老々介護

米原市の社会福祉協議会は1日に複数回、短時間の訪問介護を行い、排泄や食事

などの生活ニーズに応えます。

滋賀県東近江市の「三方よし研究会」は、医師、看護師、ケアマネ、医療ソーシャルワーカー、看護学生、施設関係者などが、月に一回、具体的な症例をテーマにそれぞれがどう対応するか意見を出し合います。



どう家族を支えるか、まさしく地域医療にかかせない活動でした。地域資源のネットワークが充実することで、住み慣れた家で暮らせる安心が生まれるのでしょうか。

人生最後は?

高齢者の60%以上は、自宅で最期を迎えたいと考えていますが、現実には病院などです。人間の尊厳を大切に、人生最後の願いをかなえられるように、本人を交えて家族や総合医と話し合い、多職種の連携で本人や家族を支えます。

「人には老いと死が必ずある。家で人生最後の集大成を、身をもって家族に伝えるのが在宅での看取り。入院中でも最後は家に帰す場合もある。その時は医師も付き添う」これぞ本人の願いをかなえるためにできることの地域医療と認識しました。また、在宅医療は医療費も削減でき、家計の負担も減ったと知り、みんなが幸せになると確信しました。

市民からの問題提起 No.4

市民から老朽化した火葬場への不安の手紙が届き、9月29日、田中のりこと市民(計7人)で視察。

木更津市の火葬場

森に囲まれた山の斜面に築47年の小さな老朽化した木更津市営火葬場を訪れ、生活環境課の職員より

- 現在3基(灯油使用)ある火葬炉が老朽化のため、改修が必要
- 雨漏りのため、屋根の補強が必要
- 障がい者用のトイレを新設

と説明を受け、大変な状況にあるのだと実感しました。この場所は一日たりとも休むわけにはいきません。本当に心配です。H33年4月に向け、新たな火葬場建設予定と伺い、

一日も早い建設を願っています。

南房総市の安房聖苑

四市一町(館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町)で建設した安房聖苑は、田んぼと山に囲まれ、住民の大きな反対もなく、建設されました。緑の生垣に囲まれた敷地面積20,294㎡に旅館のような平屋造りで煙の出ない電気炉で、とても明るく広々していました。これからの時代にあった人生の終焉をこんなところで送れたらどんなに良いかと思わせてくれました。



(港南台 山下)

【編集後記】滋賀県高島市の社会福祉協議会(略:社協)はほとんど独自財源。■H17年の合併後、市の財政は厳しく5年後の社協への補助金は0にと議会で決定■社協は行政の請負ではなく行政と対等な立場であるべき■①地域福祉をやる行政の責務で人件費を②社協は事業費をもらわない。事業を考慮し評価を得る。住民の福祉力をあげるために、地域サロン、生活支援など住民主体の活動を行う。財源は、会員の会費、共同募金の配分金、介護事業の収益で③組織改革。団体からの当て職理事はやめ、福祉に熱心で社協のことを考える人に④介護保険事業をすすめ、内部留保をせずにデイサービスなど設備投資■改革し続ける社協には、ぶれない福祉の理念が。(のりこ)